

企画政策課

☎ 共生協働係 (224)

大崎町地域にぎわいづくり事業補助金活用事例紹介

えんがわカーリング (持留公民分館)

屋内で子どもから高齢者まで幅広い世代が交流できる新たな軽スポーツがないかと考えていたところ、冬季オリンピックを見て着想を得た「えんがわカーリング」。これまでも主に持留地域で実施されてきましたが、小学校とのふれあい活動や軽スポーツ体験会など、より参加者が見込まれるイベントに対応するために用具を整備したいと大崎町にぎわいづくり事業補助金を活用しました。

今年度は申請後計3回のイベントをおこない、延べ約100人の方がこの創作スポーツを通して交流しました。

分館長の栢山さんは「大変盛り上がり楽しんでもらいました。各地区にも今後出向いて多くの方に楽しさを広めていく予定です。」と話します。



横内の民家に寄り添ったコスモスの里

(泣こよかひっ翔べ)

県道64号線の横内集落付近の水田ではこの数年、近隣の方により、コスモスが植えられています。通りがかった方の感嘆や応援の声を励みに、作付面積を増やし、散策会を実施したいと大崎町にぎわいづくり事業補助金を活用しました。

散策会当日は駐車場やコース途中に椅子などを用意した他、芋煮やおにぎりのふるまいなども実施し、参加者の方は約2haのコスモス畑をゆっくり散策したり、ふるまいに舌鼓を打ったりと思い思いの時間を過ごされていました。

代表の迫田さんは「一人の方がコツコツとされていたことに賛同し、会を発足することとなった。このような催しも実施することができて良かった。」と話します。



大崎町地域包括支援センター ☎ 471-7828

暮らしのコンシェルジュ

地域包括支援センターだより

当センターは、高齢者の暮らしについて様々な相談や要望に応える「よろず相談窓口」です。暮らしのコンシェルジュに、寄せられるご相談と対応を紹介します。

今月は「オレンジカフェ」について取り上げてみたいと思います。

- 相談内容…大崎町の広報の行事予定表(まちのカレンダー)に「オレンジカフェ」とありますが、参加者が決まっているのですか。だれでも参加していいのですか。
- 対応策…「オレンジカフェ」について説明します。

「オレンジカフェ」とは、認知症の方やその家族、地域住民や専門職など誰もが気軽に参加でき交流や情報交換をする場です。簡単な体操やDVD鑑賞、調理や工作など**参加者がやりたいことを、参加者みんなで楽しめます。**お茶を飲みながら、日ごろの介護で困っていることや介護の体験談などを語り合い、泣いたり笑ったりしながら気分をリフレッシュできる場です。**大崎町は、認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域作りを目指しております。**認知症に関わっていない方も大歓迎です。お時間に都合がつけばぜひ一度お立ち寄りください。楽しい仲間が待っています。

- 日時:
毎月第4月曜日
10時～12時
(変更時あり)
- 場所:
大崎町保健センター
- 参加費:無料

【お問い合わせ先】詳細は、大崎町役場 保健福祉課 介護福祉係 ☎476-1111(内線144)、大崎町地域包括支援センター ☎099-471-7828までお問い合わせください。